



2025
製品安全対策
優良企業
経済産業省

第19回製品安全対策優良企業表彰 (PSアワード)

中小企業 製造事業者・輸入事業者部門
「経済産業大臣賞」受賞

株式会社いうら

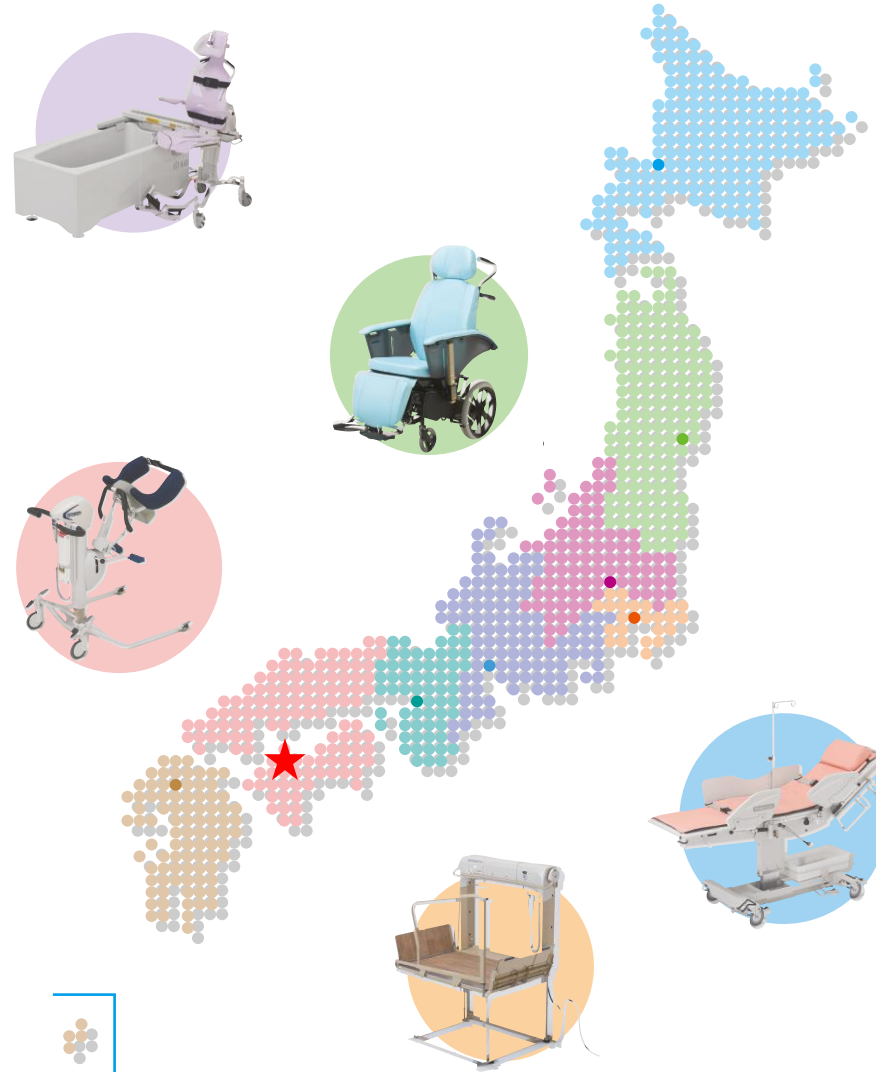
「やさしさ」かなえる新発想



株式会社いうら(昭和48年12月設立)

本社・工場 愛媛県東温市

- ◆ 福祉・介護機器の研究開発、設計、製造、販売をしている 総合メーカー
- ◆ 機能性や安心はもちろん、やさしさ溢れる機器のお届けをめざす
- ◆ 主な取り扱い商品
「入浴機器」「車椅子」「リフト」
「昇降機」「ストレッチャー」など
- ◆ 大手販売代理店を中心としたBtoB販売
- ◆ 全国8営業所によるアフターサービス
- ◆ 「信頼される商品」を提供するために、ISO9001、ISO13485（本社工場のみ）取得



札幌営業所

仙台営業所

北関東営業所

東京支店

名古屋営業所

大阪支店

松山支店

福岡営業所

ストレッチャー



フルリクライニング車椅子



段差解消機



排泄サポートリフト



フルリクライニング
シャワーキャリー



リフト付きシャワーキャリー
専用バスタブ

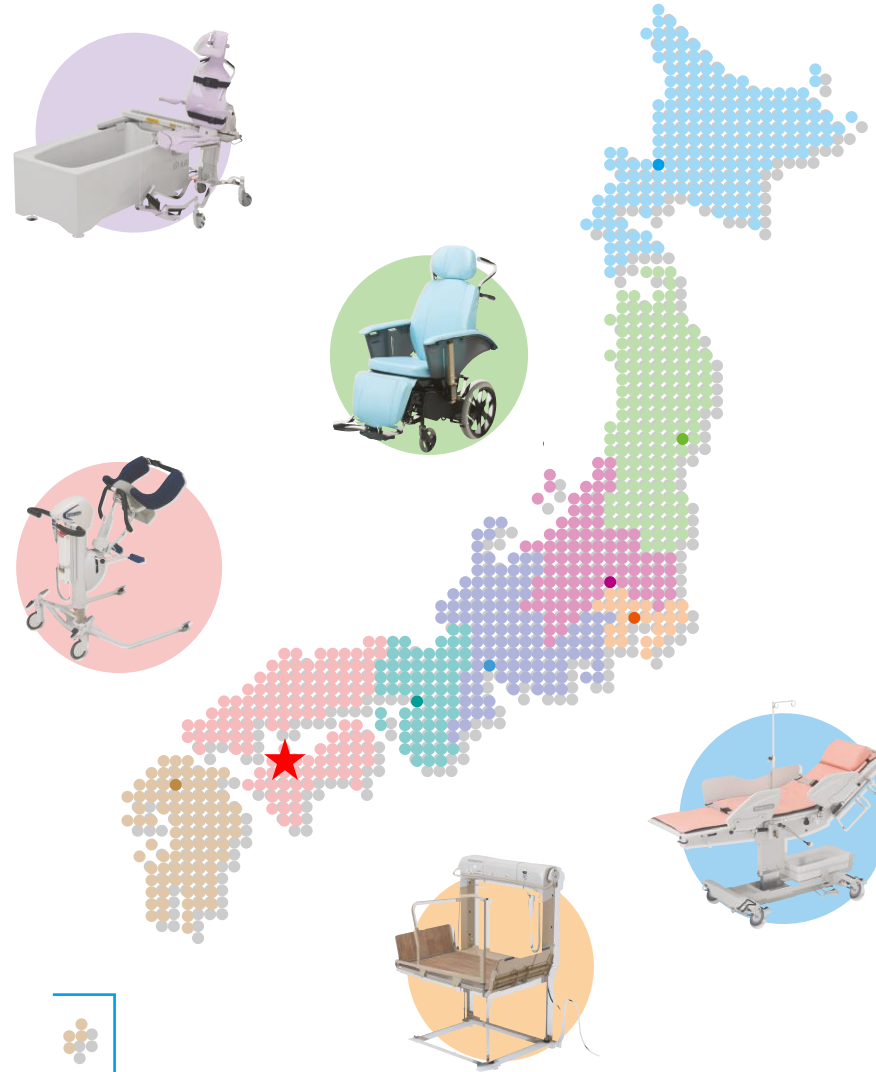


入浴用電動ストレッチャー
専用バスタブ

株式会社いうら(昭和48年12月設立)

本社・工場 愛媛県東温市

- ◆ 福祉・介護機器の研究開発、設計、製造、販売をしている 総合メーカー
- ◆ 機能性や安心はもちろん、やさしさ溢れる機器のお届けをめざす
- ◆ 主な取り扱い商品
「入浴機器」「車椅子」「リフト」
「昇降機」「ストレッチャー」など
- ◆ 大手販売代理店を中心としたBtoB販売
- ◆ 全国8営業所によるアフターサービス
- ◆ 「信頼される商品」を提供するために、ISO9001、ISO13485（本社工場のみ）取得



札幌営業所

仙台営業所

北関東営業所

東京支店

名古屋営業所

大阪支店

松山支店

福岡営業所

1. 製品安全対策優良企業表彰とは
 審査基準
 応募目的
2. 評価された3つのポイント
3. 製品安全、品質向上のための「基本骨子」
4. 審査基準（4つの視点）に対する取組のご紹介
 視点1：安全な製品を製造するための取組
 視点2：製品を安全に使用してもらうための取組
 視点3：出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
 視点4：製品安全文化構築への取組
5. 今後に向けて

製品安全対策優良企業表彰とは

経済産業省が、企業や団体の製品安全への優れた取組を表彰する制度です。

審査基準は、4つの視点

- 視点1：安全な製品を製造・輸入（仕入・販売）するための取組
- 視点2：製品を安全に使用してもらうための取組
- 視点3：出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
- 視点4：製品安全文化構築への取組

応募した目的

製品安全実現のための取組に対して、審査を通じて第三者の客観的な評価を得る

①事故事例等を再発防止に生かす効果的な取組

新商品の開発にあたっては、適用される法令・規則や安全上の注意事項に加え、過去のクレーム・不具合情報をリスト化した「インプットリスト」をまとめた上で、開発に着手する仕組みとなっている。また、作成したリストをもとに、構造評価会において、リスクアセスメントを行うプロセスが構築され、確実に運用されている。

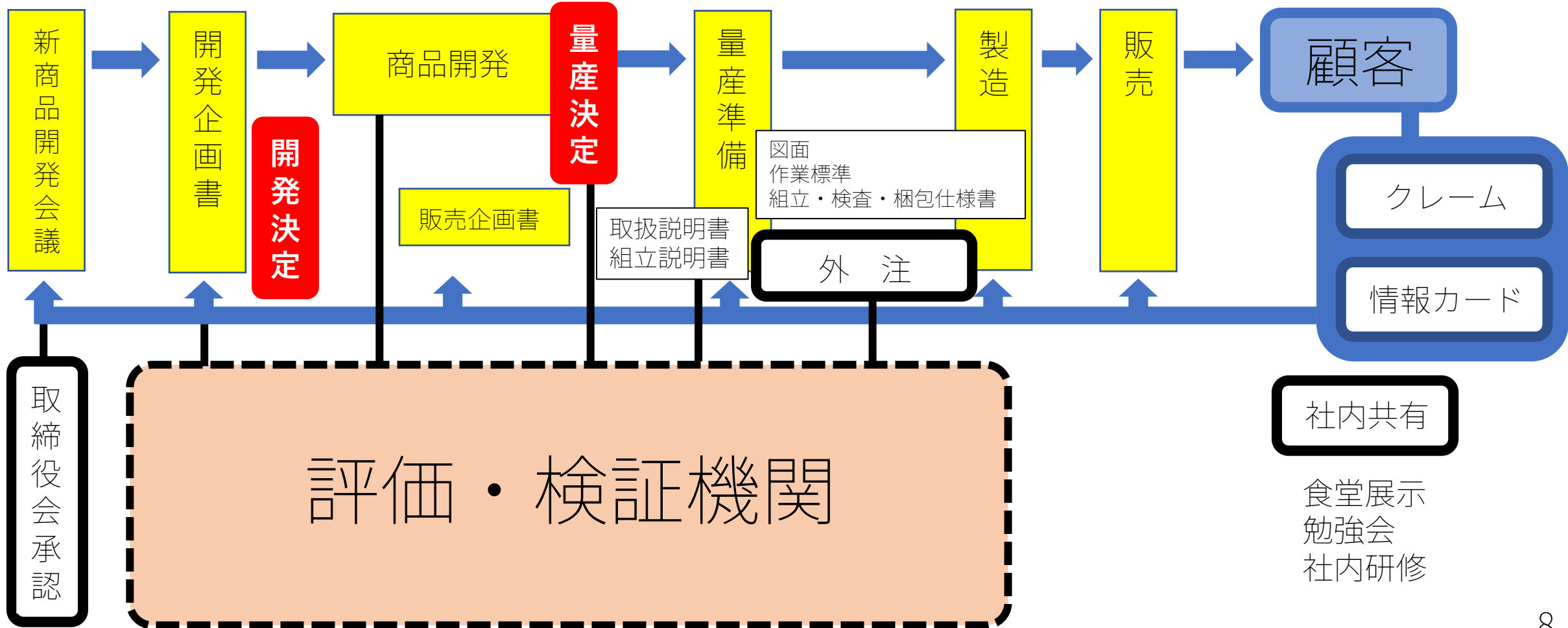
②資格認定制度や教育制度を通じた製品安全への取組

製造工程に影響を与える重要工程を「特殊工程」と位置付け、作業員および検査員は「資格認定制度」により認定された者が担当する仕組みを運用している。一定の作業・検査レベルを認定制度で確保することで、安全性の担保を実現している。また、製品安全に関するユーザーへの影響度が高い重要クレームの情報を食堂に掲示し、社員全員への周知と知識の伝承に取り組んでいる。

③積極的な社外活動と業界標準化への取組

関連する工業会や介護施設、事業所などと積極的に交流し、介護用入浴機器の安全な使用や安全性向上に努めている。また、「日本介護用入浴機器工業会」において、「介護用入浴機器の保守に関するガイドライン」の策定に参画、類似製品の安全性の向上に貢献している。

「人身事故を0にする」を2015年から品質方針に掲げ
リスクマネジメントを活用した製品開発により製品安全に取り組む

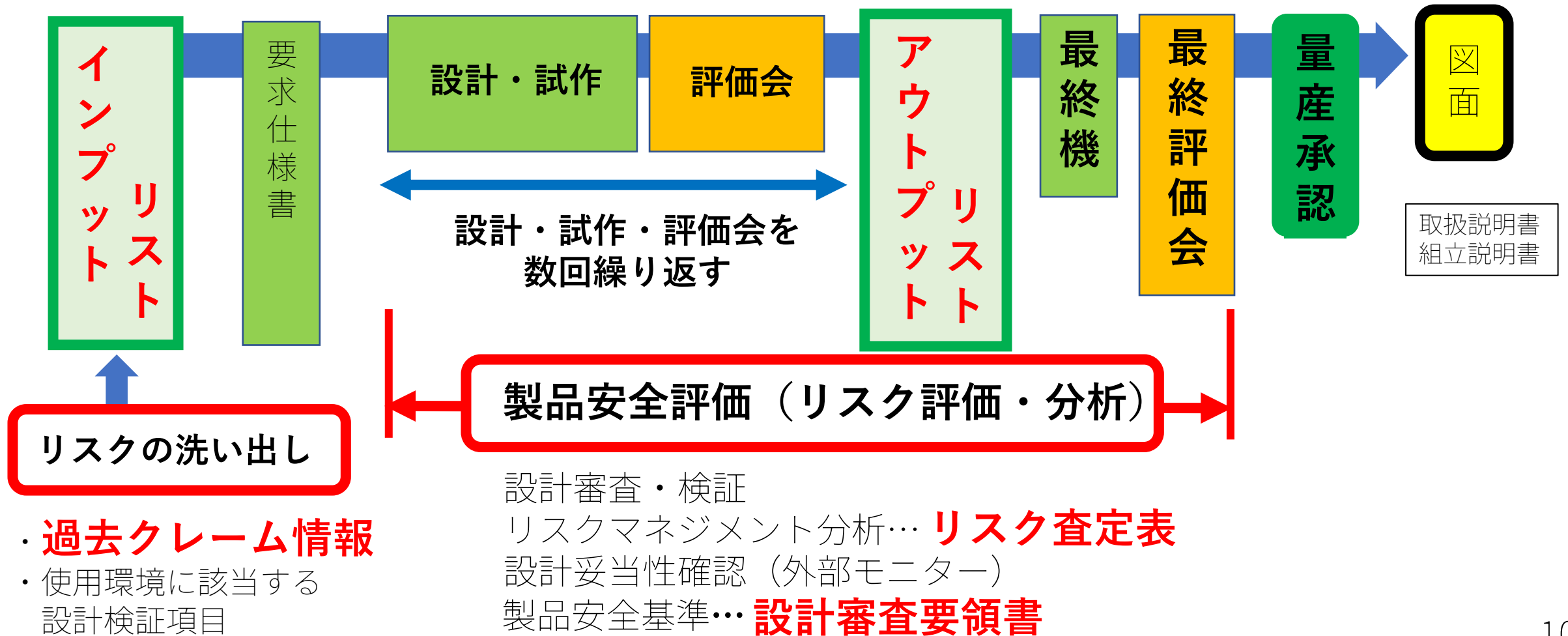


視点 1	安全な製品を製造・輸入するための取組
視点 2	製品を安全に使用してもらうための取組
視点 3	出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
視点 4	製品安全文化構築への取組

(1) 製品の企画・設計・開発に関する取組

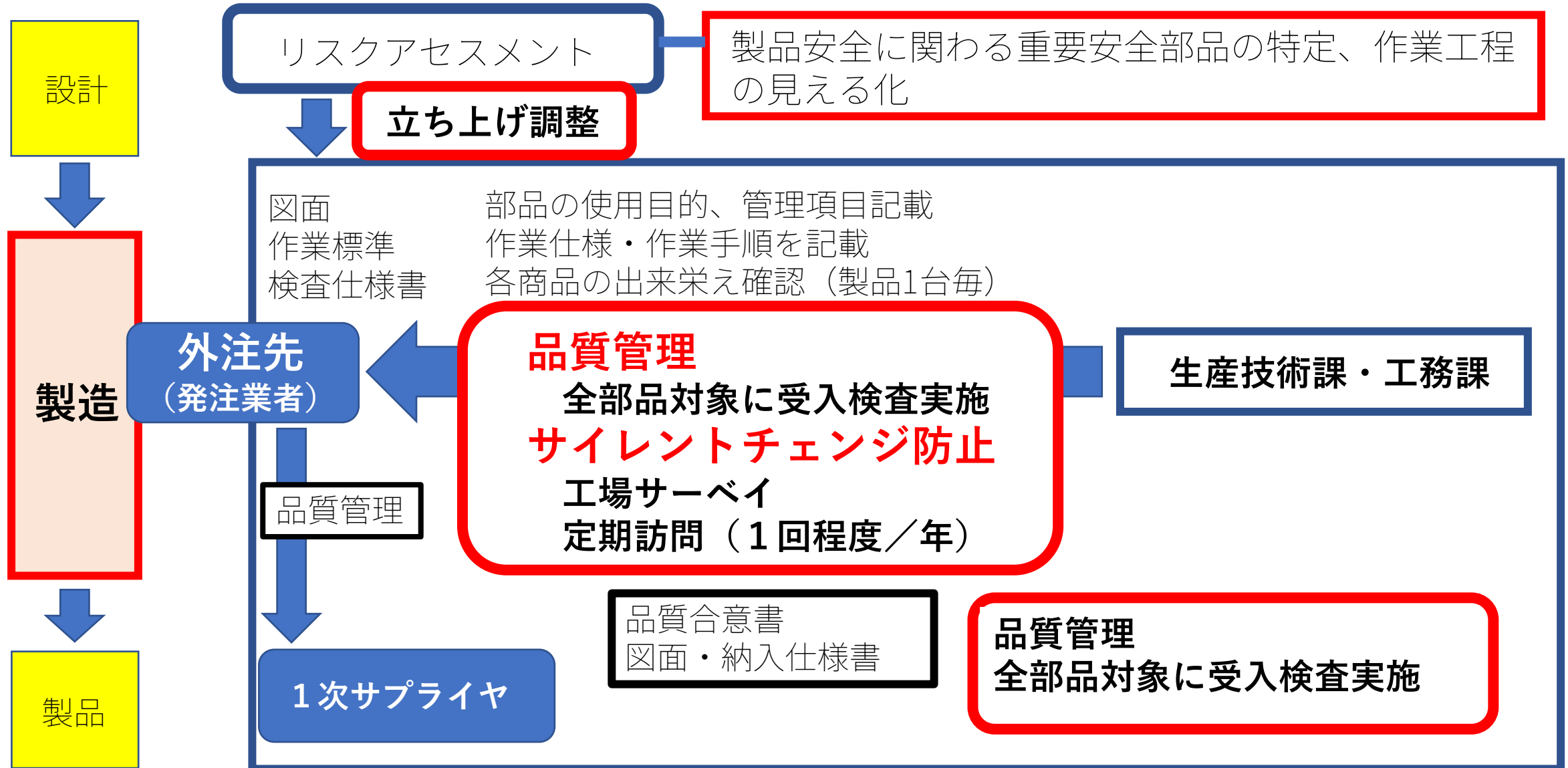
商品開発プロセス

開発する商品が決まった後、新商品が完成するまでの商品開発プロセスを示しています。



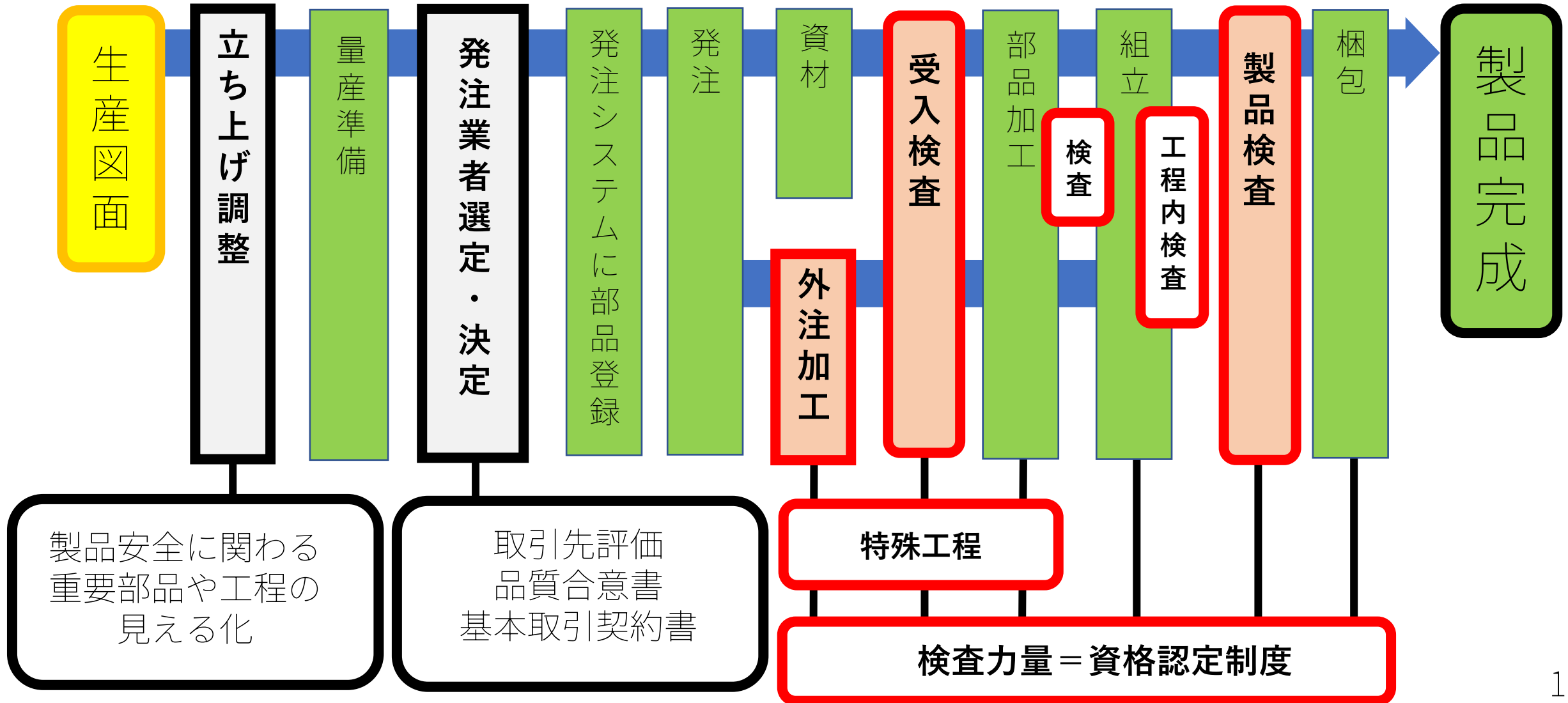
(2) 製品の製造に関する取組

商品開発設計工程完成後、商品の製造に関する仕組みを示しています。



(3) 安全性の試験・検査・評価 「製造プロセス」

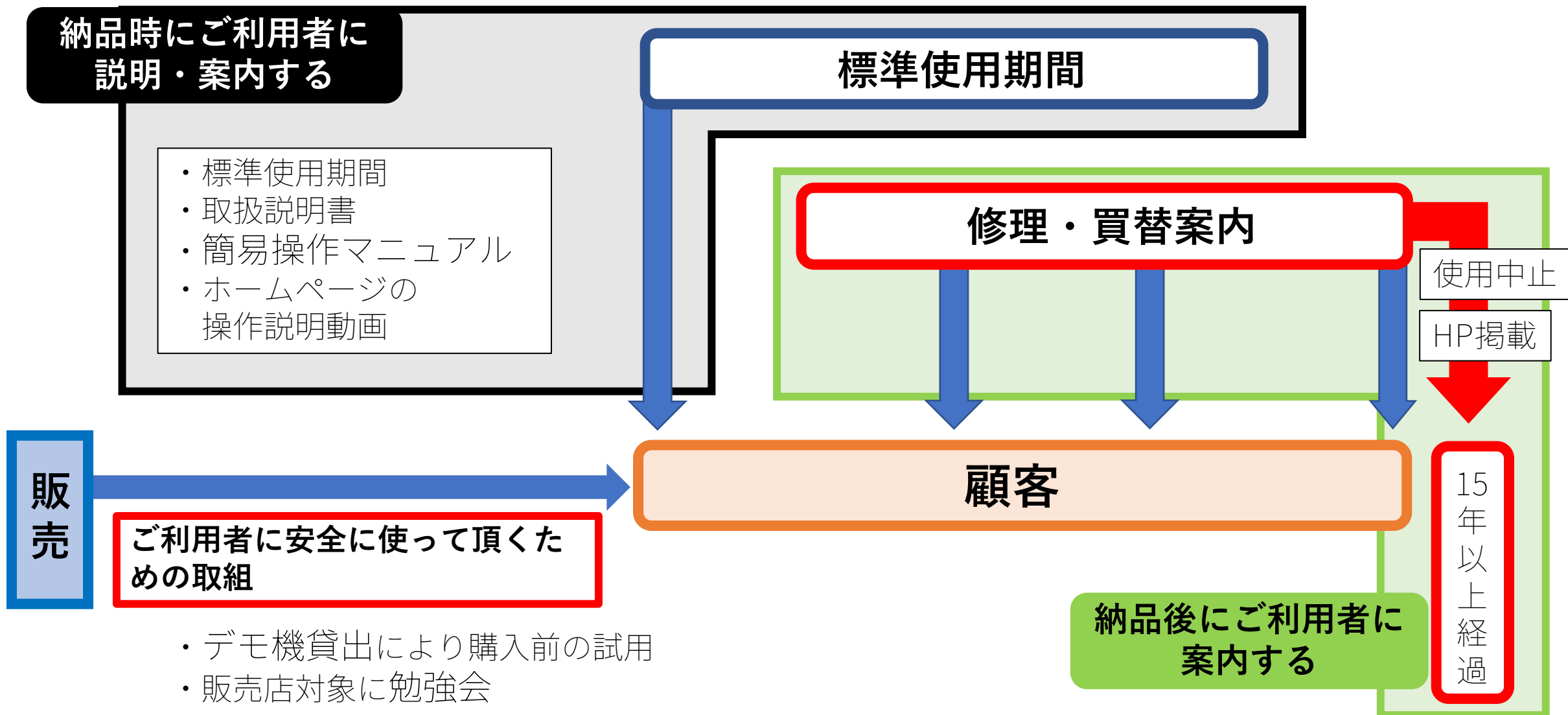
生産図面完成後、量産品ができるまでの製造プロセスです。



視点 1	安全な製品を製造・輸入するための取組
視点 2	製品を安全に使用してもらうための取組
視点 3	出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
視点 4	製品安全文化構築への取組

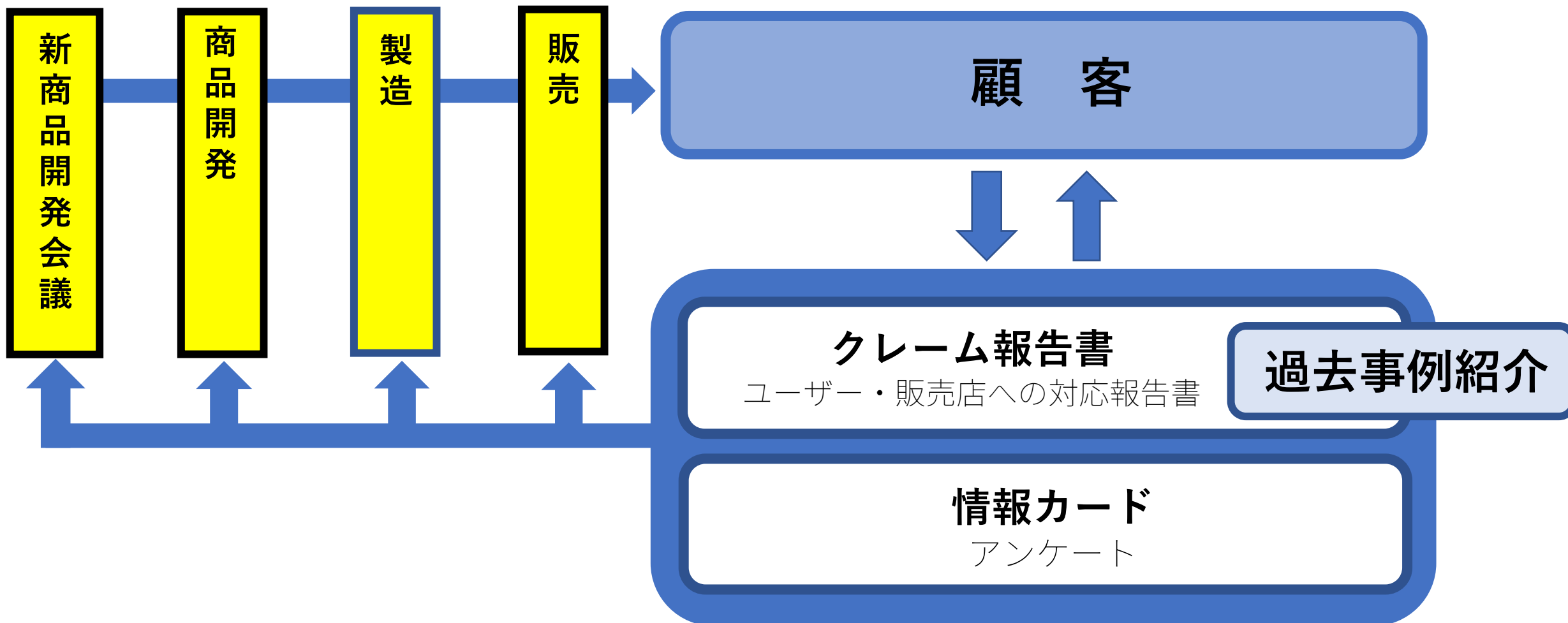
(1) 安全に関わる情報の提供・発信-1

販売後、**ご利用者に商品を安全に使って頂くための取組**を示します。



(2) 商品の使用実態や不具合・事故情報の把握

顧客情報を把握する手段とその情報が商品改良や新商品開発に活かされる流れを示します。



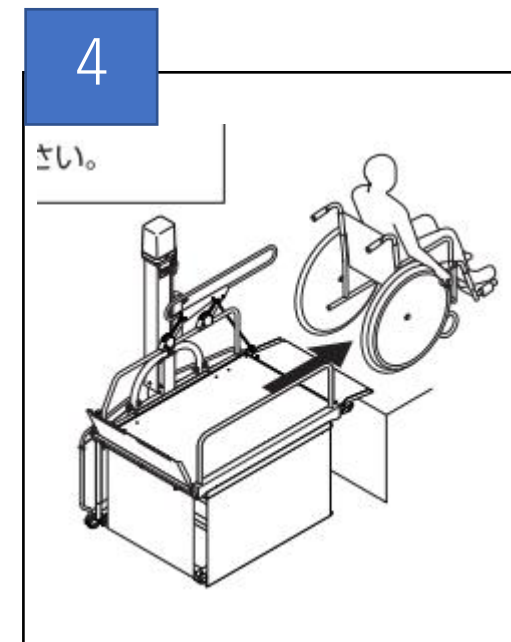
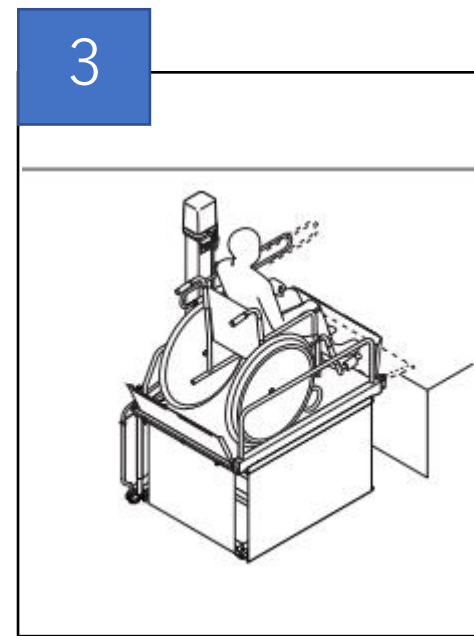
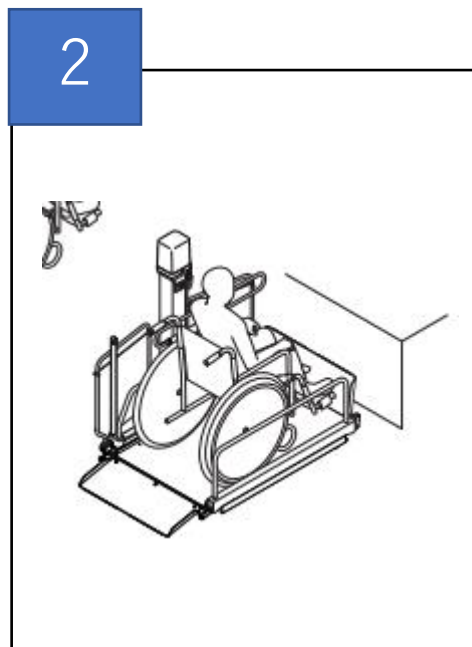
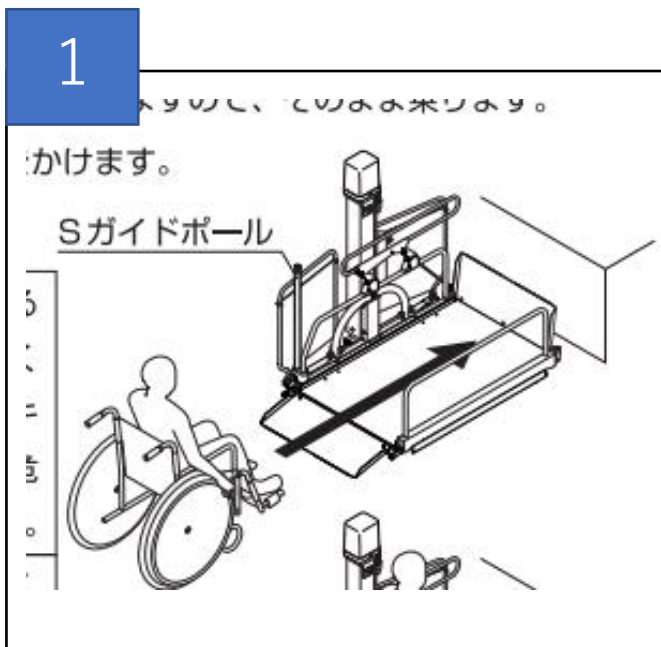
【昇降機】 電装部にアリが侵入し、ショートして火災のリスク

UD-320製品説明

車椅子用電動昇降機

使用目的

縁側等の段差を解消させ、車椅子利用者の方々の外出を手軽に行うために用いる電動昇降機です。

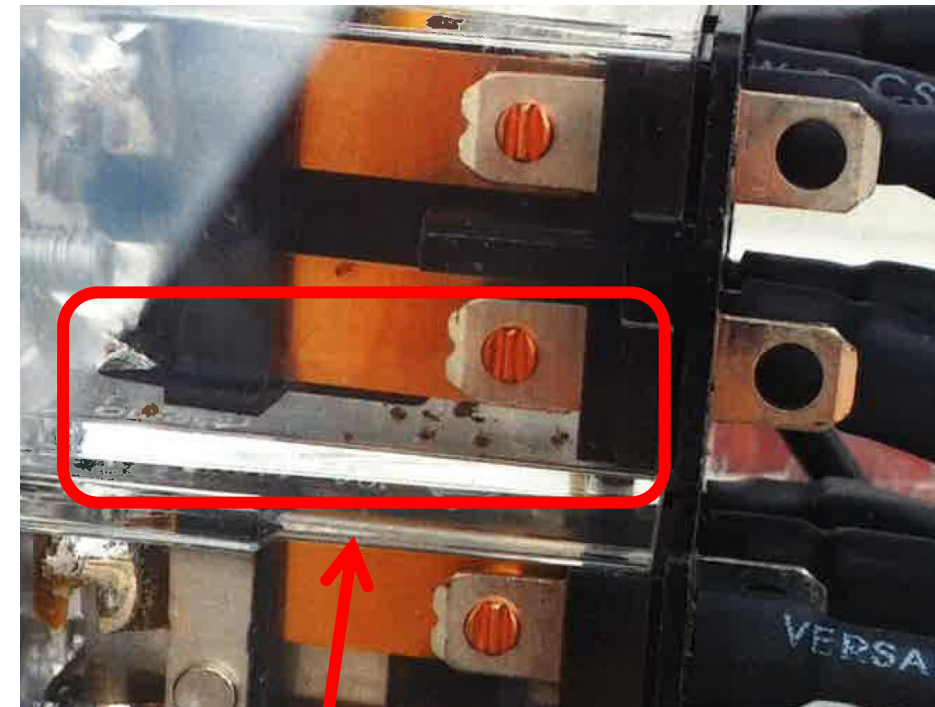


発生状況

- ・ クレームの原因調査の結果、アリがリレー接点部に挟まり通電不良になっていた
- ・ アリが電装品の匂いを好む説がある（詳細は不明）
- ・ クレームの検証をした結果、火災につながる恐れがある問題と位置付けた



電装部



アリが侵入

対策①

未対策品は組立説明書に注意事項として明記

設置場所

本製品の電気関係部品は防雨です。

注意

❗	設置面は、水平な場所を選んでください。
❗	金属部分も十分な防錆処理をしておりますが、より長く、きれいにお使いいただくためにもなるべく雨水などの当たらない場所に設置してください。
⊘	雨などで地面が緩む恐れのある場所に設置しないでください。
❗	雨などで濡れるところに設置する場合は、土の上に直接設置せず、コンクリートの基盤を造ったり、板を敷くなどして水をよけ、本製品が濡れないようにシートをかけるなどしてください。
❗	設置場所周辺に蟻が見られるときには駆除をしてください。本体内部に蟻が侵入し、動作不良を起こす恐れがあります。駆除する際は、殺虫剤が本体にかからないようにしてください。特にスプレータイプの殺虫剤は飛散するため、本体付近で使用しないでください。塗装剥がれや動作不良などの問題を起こす可能性があります。

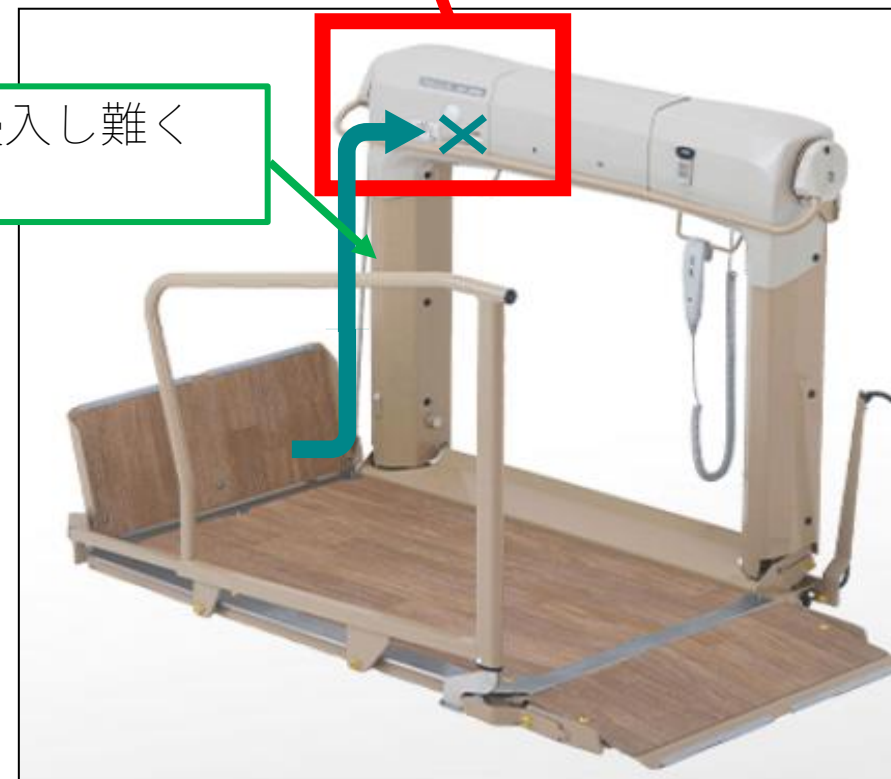
- ・近くに接地コンセントまたはアースターミナル付コンセントがない場合
オプションの延長コードをご使用ください。防水を確保して延長できます。
- ・接地コンセントまたはアースターミナル付コンセントがない場合
アース工事を行ってください。(アース工事は最寄りの電気工事業者または弊社各営業所までお申し付けください。)

- 8 -

対策②

新商品より、電装部に侵入する経路の隙間をアリの大きさよりも狭くした。更に、アリが侵入し難い地面から遠い場所に電装部を変更した。

アリが侵入し難くなった



評価 対策によるリスクの再評価

	危険度1	危険度2	危険度3	危険度4
頻度5	5	10	15	20
頻度4	4	8	12	16
頻度3	3	6	9	12
頻度2	2	4	6	8
頻度1	1	2	3	4

5~20: 不可
1~4: 可

ハザード	危険状態	危害	危険度	頻度	リスク	リスク評価
電装	電装部にアリが侵入しショートする。	火災	4	2	8	許容不可



ハザード	リスクコントロール	証拠	危険度	頻度	残留リスク	残留リスク評価
電装	電装部分を上部に配置しアリが侵入し難いようにした。	図面	4	1	4	許容可

危険度	人	製品	財産	製造プロセス	頻度	内容
危険度 1	影響がない	影響がない	影響がない	影響がない	頻度 1	製品の生涯ライフまでに 又は 生産期間中に 偶発的に発生
危険度 2	軽傷の可能性はある	多少の損傷に至る可能性はある	多少の損傷に至る可能性はある	ラインアウト	頻度 2	製品の生涯ライフまでに 又は 生産期間中に ほとんど発生しない
危険度 3	重症の可能性はある	重要部の損傷に至る可能性はある	大きな損傷に至る可能性はある	ラインストップ	頻度 3	製品の生涯ライフまでに 又は 生産期間中に たまに発生
危険度 4	死亡の可能性はある	致命的な損傷に至る可能性はある	壊滅的な損傷に至る可能性はある	生産中止	頻度 4	製品の生涯ライフまでに 又は 生産期間中に 時々発生
					頻度 5	製品の生涯ライフまでに 又は 生産期間中に 頻繁に発生

対策後、アリの侵入によるクレームは発生していない



火災発生リスクが回避できた

製品名：シャワーストレッチャーNS-200、600
ストレッチャーの上でシャワー浴や簡易入浴をする商品



使用風景



情報カードの声

マットの穴が少なく水はけが悪い



脱衣場の床が濡れてご利用者が滑って転倒する危険がある

内容: 日付 2016/1/1 以降 (例 2002/8/20) 検索

No.	分類	機種名	区分	情報先名	内容	日付	情報提供
53565	D	NS-200	6	病院	単独ブレーキのストレッチャーを使用していた為、トータルブレーキは好評でした。	2016/02/29	中上 弘之
53564	D	NS-600	6	施設	浴槽マットにお湯をためるのに5分、排水に2分程かかるとのこと。	2016/02/29	中上 弘之
53563	D	NS-600	6	病院	マットの穴が少なく水はけが悪いとのこと。	2016/02/29	中上 弘之
53562	D	NS-600	1	施設	マクラが高い。向きを変えると高さが変わるのは良いが、もっと低い仕様のものの方が需要があるのでは、との事。	2016/02/26	多田 大輝
53561	D	NS-600	1	施設	お湯を溜めた時、浴槽セット内の気泡が気になる。背上げをすると頭側に気泡が集まり、マクラが不安定になるとの事。	2016/02/26	多田 大輝
53560	D	NS-600	1	施設	浴槽セット使用時、他社製のものより深くまで浸かる事ができて良い。現在海外製で電動のものを使っているが、パーツの納期が3か月かかる為、国産という面でも安心できる。	2016/02/26	多田 大輝
53559	D	SC-330		病院	リクライニングする時、レバーを握り続けていても1段階ずつロックがかかる仕様にした方が安全ではないか、との事。	2016/02/26	多田 大輝

改善策

穴の数：10個



穴の数を18個に増やした
水はけが改善された



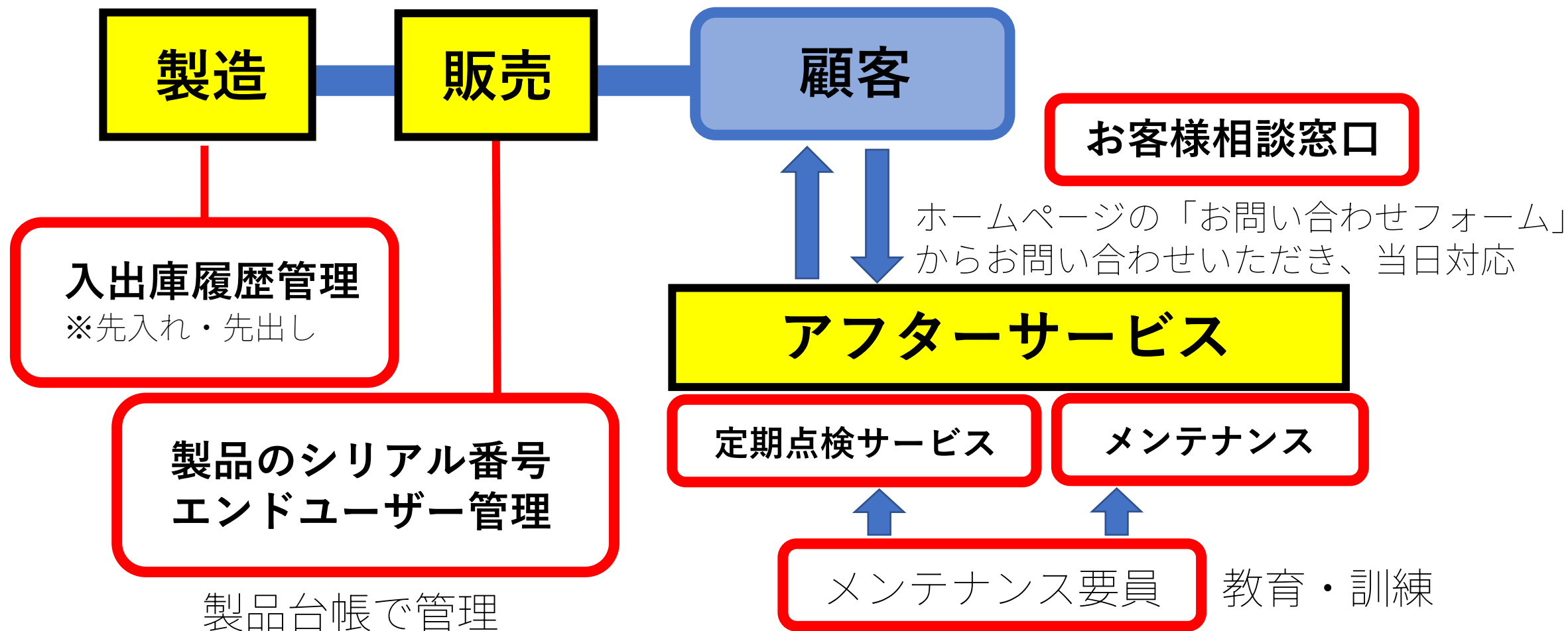
改善後、水はけが悪いという
ご意見をいただくことはなくなった

滑って転倒する危険が無くなった

視点 1	安全な製品を製造・輸入するための取組
視点 2	製品を安全に使用してもらうための取組
視点 3	出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
視点 4	製品安全文化構築への取組

(1) 事前の備え、平常時の取組について

商品のトレーサビリティと販売後のアフターサービスを表わした図です。



一件のエンドユーザーに出荷した製品のシリアル番号から生産時期、最終検査の状況、部品の入荷履歴などを遡ることができ、何か問題が発生した時に原因の究明や必要な対応を迅速に行える体制を整えている。

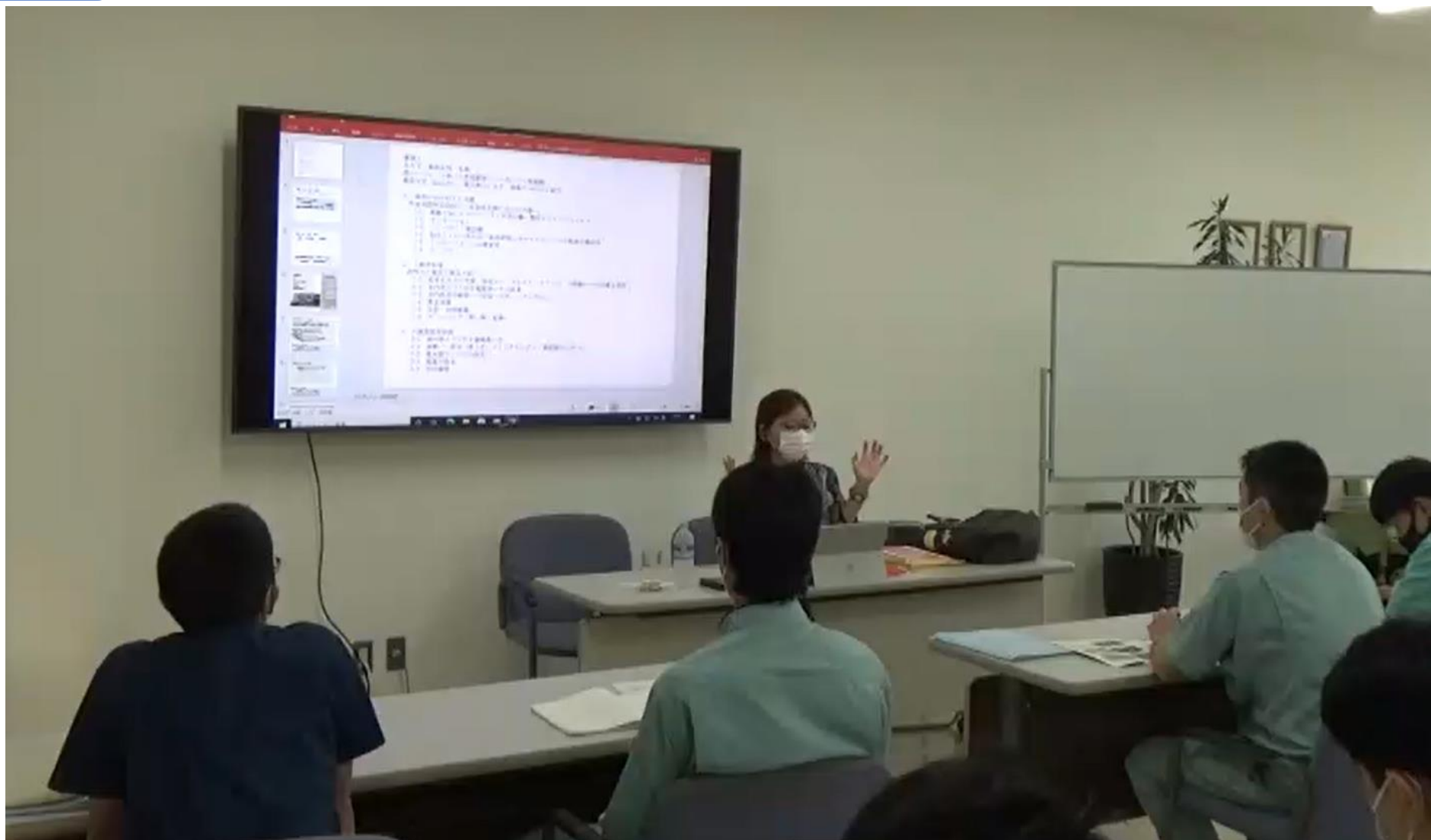
視点 1	安全な製品を製造・輸入するための取組
視点 2	製品を安全に使用してもらうための取組
視点 3	出荷後に安全上の問題が判明した際の取組
視点 4	製品安全文化構築への取組

(1) 人材育成、知識・技能継承

- ①すべての新入社員に対して、入社後の新入社員研修の中で品質方針を含めた長期計画の教育とISOシステム教育を通して製品安全のための教育を行っている。
- ②検査員資格取得条件である社内試験を、全社員の取得義務とし、勉強の機会を作り、製品安全のための品質検査の重要性を理解させ、責任を持って検査業務を行う人材を育成している。
- ③製品安全につながる設計をするために、県内医療大学の看護学科系の講師を招き、看護知識や看護技術の研修などを約5年前から定期的内に行っている。
- ④製品安全の理念を実現するための知識や技術を伝承し、過去の教訓や消費者の声を生かすために、重大クレームに関する発生現品や発生内容、損失金額、発生原因、対策を約10年前から全社員の目に入る社内の食堂に展示している。

講義風景

製品安全につながる設計をするために



④重大クレーム情報を社内食堂展示

クレーム内容揭示

HS-260 操作ハンドルの空回り

(クレーム報告書№391)

クレーム内容

利用者に乗せて繰り出しベルトをストレッチャーに戻そうとした時、操作ハンドルが空回りする。

発生原因

- ① マキコミジク(1)COMP 内で金属同士が直接接触して回転する部分があり、その部分の摩耗が進むと大きくなる事でマキコミジク(1)COMP 部のギヤと操作ハンドル部のギヤとの噛み合わせが外れる。
- ② マキコミジク部の構成は前機種種のHS-200/250と同構成であると判断した。しかし、ギヤの種類や動力系統の構造が異なっており、本来は耐久テストを行って性能評価をしなければならなかったと判断し耐久テストを行わなかった。



金属同士が直接接触して回転する構造



ベベルギヤ側の接触部分の摩耗が進みベベルギヤのガタが大きくなる。

クレーム現品展示



社内食堂展示風景



①安全基準やガイドラインの策定、試験方法等の標準化活動のために各種業界団体への積極的な参画を行っている。

②ご利用者に安全に使用していただけるように、ご利用者に商品説明をする販売店に対して商品の勉強会を約30年前から定期的に実施

③厚生労働省など行政の支援事業を活用した製品安全評価

- ・介護ロボット等モニター調査事業
- ・川崎市総合リハビリテーション推進センター様のご協力を得て、排泄サポートリフトTL-300の商品検証

③外部機関のご協力を得て商品検証の取組

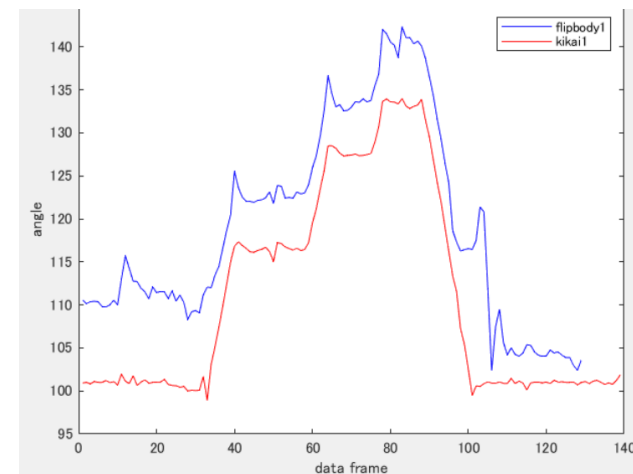
7/14医師、理学療法士、作業療法士からの製品評価風景



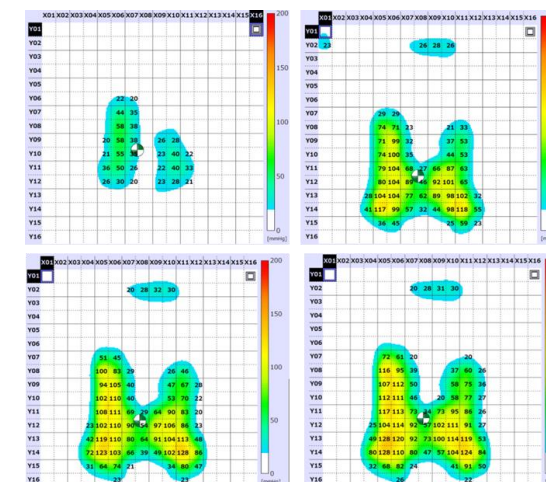
新しい取組

川崎ウェルテック様のご協力を得て、身体的負荷に関するデータやエビデンスに基づいた商品改良を始めた。

身体と機器の前傾角度



身体圧の変化



①ご利用者に商品を安全に使ってもらうために
創業以来、**デモ機を通して介護施設の方などに安全に
関する情報発信**を行っている。

②**県内医療系大学の学生を受け入れ**
当社商品の**安全に関する取組を発信**し、介護現場の理解を
深めるために約10年前から定期的な研修を開催している。



県内病院にて

研修風景



創業以来、福祉・介護機器の開発・製造・販売を一貫して行う総合メーカーとして、「約束を守り、安心して使ってもらえる商品づくりをすることにより、信用を確立する」という経営理念のもと、**高齢者の安全を最優先に考えたものづくり**に取り組んでまいりました。入浴機器、車椅子、リフトなど多様な製品を提供するなかで、安全性の向上と品質管理の徹底はもちろん、導入後の丁寧なサポートにも力を注いでおります。こうした製品安全に対する長年の取り組みが認められ経済産業大臣賞を受賞することができました。今後も安全性と技術力のさらなる向上を追求し、**高齢者が安心して暮らせる少子高齢社会の実現に貢献してまいります。**

ご清聴ありがとうございました。